

# いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信

みんなに  
～この民具何もの?①～



岩沼市マスコットキャラクター  
岩沼係長

第 14 号

2024 年 4 月 11 日発行

岩沼市ふるさと展示室(市民図書館 2 階)

TEL: 0223-25-2302

質問受付中!

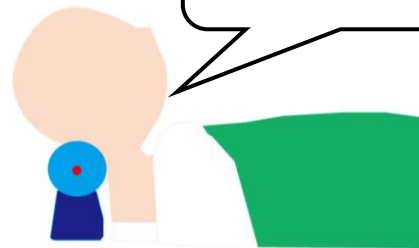
## きかくてん しょうかい 企画展より民具を紹介!

ぶんかざい てんじちゅう  
第 42 回文化財企画展「この民具何もの?」で展示中の民具をピックアップして紹介します。

### はこまくら 箱枕



えどじだいこうはん  
江戸時代後半には、そこがカーブして動くタイプに進化。より楽に寝返りができるようになった。



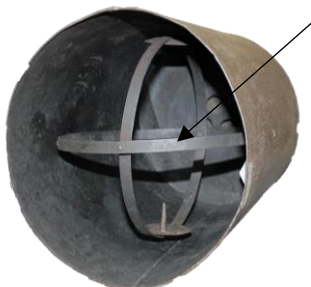
ふとん そとにだして使います。

はこがた げんたい わたし しょう かたち おお こと  
箱形につくられた枕です。現代の私たちが使用している枕とは形が大きく異なります。15cm から20cmくらいの高さがあり、寝にくそうですが、それには理由があります。

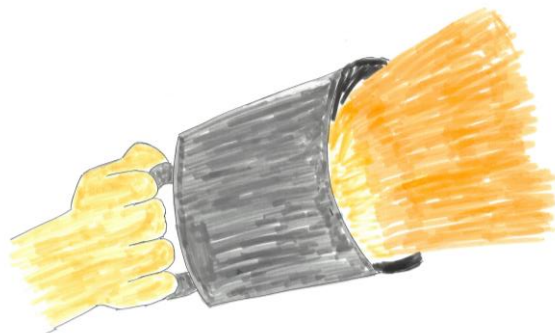
じだいげき み かた わ おも むかし だんじょ かみ ゆ せいかつ  
時代劇を見たことがある方なら分かりますが、昔は男女とも髪を結って生活していました。現代のような低い枕では寝るときに髪型が崩れてしまいます。そこで、このような枕が生まれ、小枕(布の部分)に首を当てて寝ていました。

めいじじだい だんせい まげ ゆう ぶんか な にほんがみ ゆう じよせい ねんだい  
明治時代になり男性が鬘を結う文化は無くなりましたが、日本髪を結う女性によって1930年代(昭和初め)まで使用されていました。

### がんとらう 龕灯



中の2つの輪がクルクル回転し、ろうソクが上を向くようになっています。



えどじだい はつめい けいたいよう しょうめん て もぬして ごとらう  
江戸時代に発明された携帯用ランプです。正面だけを照らし、持ち主を照らさないため強盗  
いえ おい さい つか やくにん ごとらう そうさく つか い がんどうちようちん よ  
が家に押し入る際に使ったとか、役人が強盗の捜索に使ったとも言われ、「強盗提灯」と呼ばれた  
なかに 2 つの てつわ つ かいてん ちゆうおう  
たそうです。中に2つの鉄輪が付いています。輪がクルクルと回転し、中央のろうソクが、龕  
ほうこう む かなら うえ む つく  
灯をどの方向に向けても必ず上を向くように作られています。